

# 記録媒体 (ディスク/テープ) 切断破壊サービス

オフィスやご家庭で不要となった記録媒体 (ディスク/テープ) をお客さま先で物理的に切断破壊し情報漏えいを防止します。

情報漏えい事故に対する社会の関心はICT技術の進化で更に高まり、その脅威は今や企業活動だけでなく普段の暮らしの中にも暗い影を落とそうとしています。

例えば、企業の電算室や保管庫には電算処理やバックアップで利用して不要となった磁気ディスク (CD, DVD, MO等) や磁気テープ (LTO, DLT, DAT, CMT等) がお客様の大切な情報を記録したまま廃棄されずに置かれていたり、家庭ではお子様の健やかな成長の様子を記念にと撮影したビデオテープ (VHS, DVC等) が見られる事もなく忘れられた存在となってゴミボックスにしまっただけだったり。

これらの記録媒体は誰にも触れられず、そのままの状態での場所にて置かれているうちは何の脅威も生まれません。

しかし、これらが社屋の移転や建替え、部屋の模様替えや引越し、職員 (家族) や業者の出入りなどで今の場所から移動され、仮に1本でも行方が分からなくなったとしたら企業はたちまち社会的信用を損なう事態に、家族は犯罪に巻き込まれる事になりかねません。

「記録媒体切断破壊」サービスは、この様な脅威にさらされる前に記録媒体に記録されている大切なデータをケースごと物理的に切断し記録媒体を再生不可能にして安心を提供するサービスです。



## 主な特長

### 安心/安全

お客さま先に当社スタッフが切断破壊装置を持ち込んで作業を行いますので輸送における情報漏えいリスクがありません。

### 確実

専用の切断破壊装置で確実に切断し破壊しますので再生は99.9%不可能です。  
※オプションで「電磁気消去」も選択可能です。

### 短時間

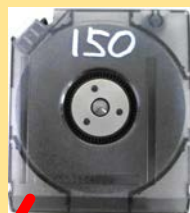
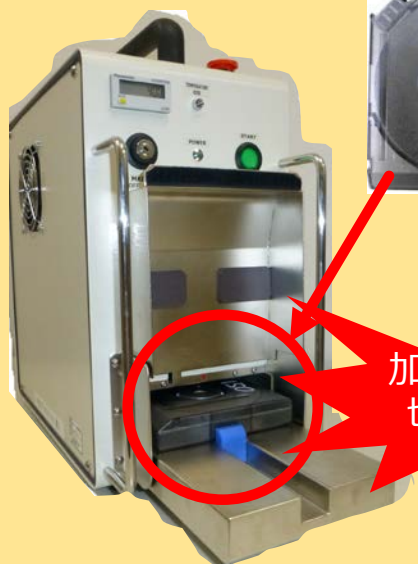
切断破壊の作業時間は1本あたり約2分と短時間で完了します。

### 充実

切断破壊した事を切断前/切断後の写真を付けて「切断破壊作業報告書」で報告致します。

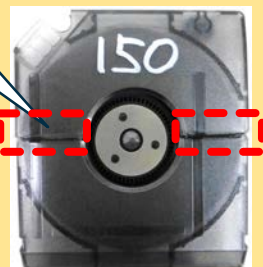
## ■ 切断破壊方法

### 切断破壊装置



磁気テープは加圧によりケース毎切断破壊されます。

加圧による  
切断破壊



- ・切断は2カ所以上行います。
- ・切断破壊結果が目視で確認できます。

## ■ 切断破壊対象

### 記録媒体

ディスクメディア（CD、DVD、Blu-ray Disc、MO（3.5型/5型）、FD（3.5型））

テープメディア（LTO、DLT、DAT、CMT、VHS、DVC）

※記載以外の記録媒体の切断破壊については、対応可否を含めご相談下さい。

※オープンリール式記録媒体の切断破壊は対応しておりません。

## オプション

### ■ 電磁気消去

切断破壊だけではご不安とお考えのお客様向けに記録媒体を強力な磁界照射でデータを消去する電磁気消去もお選び頂けます。

電磁気消去を行った場合、「データ消去作業完了証明書」を発行致します。

1. 当社スタッフがお客様先(現地)に出向いて切断破壊作業を実施致します。
2. 作業場所・作業用机(台)・電源・切断破壊した記録メディアを収納する容器(ゴミ袋等)をご用意下さい。
3. 記録メディアの作業場所への搬入は、予めお客様により行って頂きます。
4. 切断破壊した記録メディアやケースの廃棄処分はお客様により行って頂きます。
5. お客様の条件によってはご要望にお応えできない場合もあります。予めご承知おき下さい。

サービスに関する詳細・お問い合わせは下記へ



株式会社 鹿児島頭脳センター

<http://www.kbc3.co.jp/> E-mail : [erase@kbc3.co.jp](mailto:erase@kbc3.co.jp) TEL : 099-216-2260 / FAX : 099-216-2271

〒892-0821 鹿児島市名山町4番3号 鹿児島地域振興公社ビル6階